

■ 業務実績例 9

・ 包装機

紙皿パックシール機

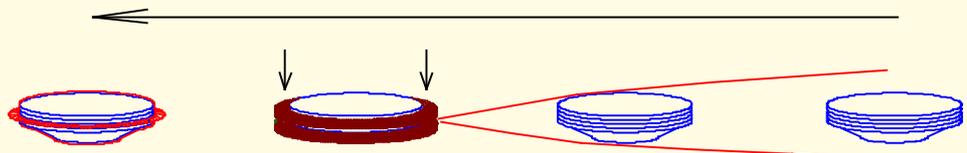
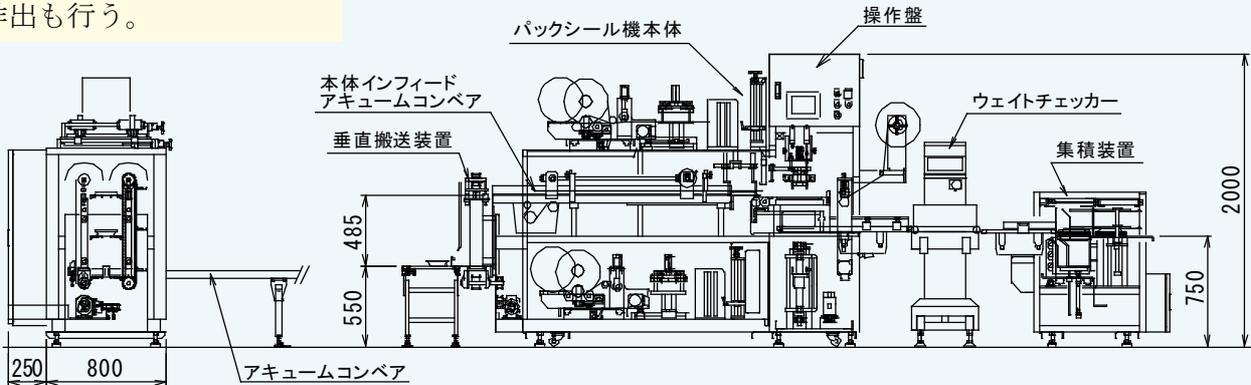
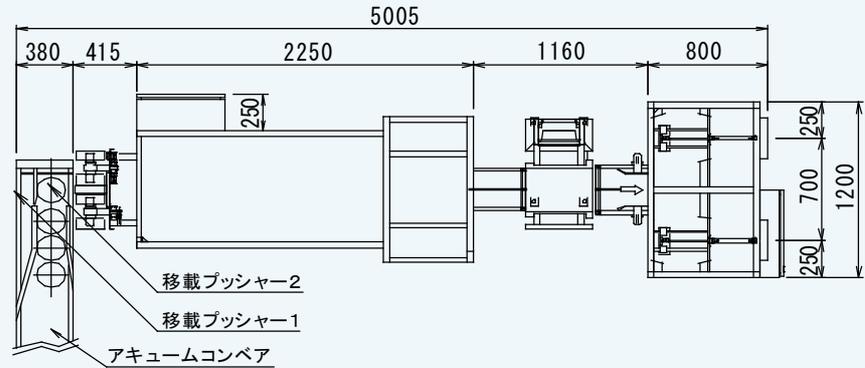
パックシール機

他

■ 紙皿パックシール機 ライン例 (垂直搬送装置+本機+ウェイトチェッカー+集積装置)

\* 機械概要 \*

- ・ 間欠モーション機
- ・ 機内アキュムコンベア上に供給され製品を自動で切り分け、シール部に取む。
- ・ フィルム送りと脱気用の穴明け、巻き取りは自動的に行なわれる。
- ・ ライン内集積装置は、ウェイトチェッカーで検知された枚数不足のパックの系外排出も行う。



■ 仕様例

機械名称	SP-30型パックシール機
機械寸法	幅 1,150 長さ 2,450 高さ 1,850 (操作盤上端迄) ※付帯機器を含まず
走行面高さ	本体インフィードアキュムコンベア 1,035 排出部コンベア 750+50 ※ライン例はアキュムコンベア高さ550 垂直搬送装置にて本体へ移送
機械重量	1,500 Kg
機械速度	最高30 パック/分 ※集積枚数、寸法、及びフィルムの材質により異なる場合があります
パック数 包装寸法	紙皿及びボウル 径 120~300 φ 深さ10~50mm
製品切替	交換部品:ヒーターユニット、チャックハンド他交換(簡易交換可) インジケータ付ハンドルチェンジ 他 フィルム交換、シール温度設定変更 他
封緘装置	熱盤によるフィルムシール
オプション	供給装置、ウェイトチェッカー、集積装置 他